



新屋島水族館アメリカマナディ



北れいからのながめ



屋島寺「雪の庭」



なでしこの花



屋島のさくら



屋島から見た夕日

【屋島たんけん隊のちかい】

- 学校の先生やお家の人といっしょに探検しましょう。
- 山を歩くのにふさわしい服装やくつにしましょう。
- しっかり計画を立て、歩く前には準備運動をしましょう。
- 花や木をつんだり切ったり、いためてはいけません。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 道でないところやよその庭には入らないようにしましょう。
- 交通ルールを守りましょう。
- ちかいを守ってなかよく歩きましょう。

【保護者の方へ】

- 屋島には危険な山道もあります。保護者の指導、同伴をお願いいたします。
- 山道を歩く際には、専門家の指導、また登山に適した服装・装備が必要です。
- マムシやイノシシなども出ることがあるので注意が必要です。
- 道を外れたり、草花を取ったりすることはしないようお願いいたします。
- 美しい自然を守るためにゴミなどは必ず持ち帰るようお願いいたします。
- 路上駐車はしないようお願いいたします。

高松市観光交流課 電話 087-839-2416



屋島ナビ



屋島ナビフェイスブック



すてき屋根! 屋島!

「屋島」ってなにかな? 屋島は、むかし島でしたが、今は川をはさんで陸つづきになりました。メサとよばれるテーブルのように上が平たくなったようかん台地で、大きな屋根のように見えるので「屋島」とよばれています。一番高いところはおよそ300メートル、南北におよそ5キロ、東西におよそ2キロあり、山登りやハイキング、野鳥や植物などの観察ができます。古いお城のあとや屋島寺、展望台や水族館もあり、いろいろなことを学ぶことができます。

屋島は「瀬戸内海国立公園」「史跡天然記念物」といって、国がえらんだすばらしい公園であり、歴史上だいじな場所です。めずらしい自然も残っています。



や

しま

屋島

たい

たんけん隊

まなぶくん



あそぶちゃん

このパンフレットを使って
屋島を探検してみよう!
自然や歴史を勉強してみよう!

屋島で遊ぼう屋島を学ぼう!!

A. 753年に中国から日本にやってきた“がんじん(鑑真)”
 というおぼうさんが、屋島の“ほくせい(北瀬)”にたてたのが始まりといわれています。そのあとが、今も“せんげんどう(千間堂)”とよばれています。その後“そうほうだい(弘法大師)”が、今の場所にうつしました。
 屋島寺には“じゅうやうぶんざい(重要文化財)”
 というたから物があります。
 屋島寺 電話 087-841-9418
 (ほまつかん 9時~17時(日曜日))

A. “げんべいやしまかっせん(源平屋敷合戦)”という昔のいくさで勝った人たちが、頭にかぶっていたかさを投げておいわいしたそうです。そこで、いろいろおねがいごとがかなうようにと、かさの形をした小さなすずきのとき(土器)をてんぼう台から投げるようになりました。屋島山上のおみやげ屋さんに売っています(8まい200円)。



ミサゴに
ずっと住んで
もらえるように、
みんなで
見守ろうね。

図かんなどを
持って、
歩きながら屋島を
調べてみよう。

A. ぜつめつが心配されているミサゴのほか、ハヤブサやウグイス、夏はホトトギス、冬はジョウビタキなどたくさんさんの鳥やこん虫、動物もいます。また、花や木も多いので、しっかりかんさつしましょう。

A. 3つのてんぼう台があり、「だんこれい(談古嶺)」からは、「げんべいやしまっせん(源平屋島合戦)」のいくさがおこなわれた場所を見ることができます。「しのれいがん(獅子の靈巖)」からは、高松港を見ることができます。「ゆうかくてい(遊鶴亭)」からは、美しい海と島々を見ることができます。ほかにもまがきがよく見える「かんむりがだけ(冠ヶ嶽)」などがあります。

A. 屋島にしろ(城)をきずいたと古い本に書かれていました。門のあとが見つかり、かべの一部分を昔のように作ってみました。このしろ(城)は“やしまのき(屋嶋城)”とよばれています。

(受付け:月～金曜日の8時30分～17時15分)

うして
まのき”が、
られたん
ろう？

げんべいやしまかつせん
源平屋島合戦の
ことをもっと
調べてみよう。

A、都から追われて屋島のふもとにいた「へいし(平氏)」と追いかけてきた「げんじ(源氏)」が屋島の「だんのうら(檀ノ浦)」でたたかいました。この戦いを「げんべいやしまっせん(源平屋島合戦)」といいます。そして、ここからげん平氏は、山口県にある「だんのうら(壇之浦)」で負けてしまいました。



●新屋島水族館
めずらしいアメリカマナティやゼニガ
タアザシ、ペンギンなどがいます。タ
ッチャブルでは、いのしき動物にさわ
ることができます。とう明ポートでイル
カのかんさつもできます。
電話 087-841-2678
9時～17時(年中無休・有りよう)



●昔話の舞台をたずねてみよう
屋島には、日本のタヌキのたいしょうともいわれる「たさぶろうだぬき」のお話や「くわすのなし」などのお話がつたえられています。



●味わってみよう
屋島名物「いいたこおでん」や、山の上でもさぬきうどんを食べることができます。

●ボランティアガイド
屋島のれきしなどをお話してくれる
ボランティアガイドさんは、土曜と日曜
の10時～15時まで(冬と夏に休みがあ
ります)屋島寺の東で待っています。

問合せ 高松市観光交流課
電話 087-839-2416
(受付:月～金曜日の8時30分～17時15分)